



ほろのべ

北緯45度のまち

議会だより

第51号

発行 幌延町議会
編集 議会報発行特別委員会
電話 01632-5-1111
FAX 01632-5-2971

第1回 幌延町議会 臨時時議会

今年1月29日、町有財産の処分と支庁制度改革による、町の所管区域変えのための総合行政システム等改修事業の新規計上で全議案可決。

〔議案第1号〕

◎一般国道40号天塩防災事業改良工事に伴う町有地売却。(1千7百91万8千7百1円)

〔質疑〕

問 今回売却した土地と立木の基準単価の根拠は。

答 土地単価はm²当り約54円で5百85万3千9百63円

立木単価6百93円で千2百6万4千7百38円となっており最近の売例に準じて算出されている。

〔議案第2号〕

◎21年度幌延町一般会計補正予算。(補正額3千14万4千円)

問 支庁編入による行政システム改修費(1千2百14万4千円)の道の補助等はないのか。

答 市町村コードの変更でこれだけの経費は想像外で道に財政支援を要請している。

常任委員会 活動

(2月22日)

第1回総務文教常任委員会

(1)宗谷定住自立圏構想について

この構想は、医療や環境産業等様々な分野において中心市(稚内市)がもつ圏域の暮らしに必要な都市機能と周辺町村(宗谷管内8町村と幌延町)のもつ資源や地域性を活用して住民が安全安心な暮らしを続けられる様その形成を目指すもので、23年中の協定締結に向け今後協議を進めたいと考えている。

問 幌延町としての今後の作業とメリットは何か。

答 町づくりの一つの手法でもあるので町民との懇談を踏まえ、財政措置の拡充をはじめ、医療の広域化観光振興、文化交流等々により広域連携体制での人口定住のためと考える。

(2)地域活性化・きめ細やかな臨時交付金について

この交付金は国の平成21年度第2次補正によるもので交付対象事業は地元中小零細事業者の受注に資する様なきめ細やかなインフラ整備事業を対象としたものであり、集会施設、公営住

宅、学校、役場庁舎、寒別診療所等13件を予定し、22年度の前倒しといえる予算である。
3月補正予算とし1億4千4百24万2千円を計上する。

問 この内地元業者が出来るのはどれ位か。

答 改修等が主でありほぼ出来ると思う。

(3)平成22年度一般会計ほか8会計の概要説明について

(4)教育行政の執行状況の点検・評価について

本件は「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、毎年、行政事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果を議会に提出するとともに公表することが規定されたもので、本委員会では説明があり確認したところであります。

(5)生涯学習センターの実施計画について
研修室等の利用の仕方に関し改善を求めた。

第2回産業厚生常任委員会

(1)幌延町健康増進計画策定の取り組みについて

青壮年期の方を中心に、町民の皆さんの健康づくりを推進するため策定委員会を設置し、アンケート調査、健康づくり講演会(2回)、パブリックコメント等を実施し、『幌延町健康増進計

画』を策定する。

問 対象者は。

答 母子と高齢者は別計画があるので、その方を除く30歳から69歳までの約1千5百名。

(2)幌延町立診療所等整備計画について

実施設計について説明があり、療養病床19床(内4床救急専用)。23年10月オープン。

問 薬局はどうなるのか。

答 薬剤師の配置が不要になり、院外に薬局を置くという事で現在の薬局長と話しが進んでいる。

(3)幌延町立歯科診療所について

22年度に実施設計を行い23年度に着工し10月オープンを予定。旧第7町内会館跡地に概ね1百m²程度の木造平屋建てを考えている。

第1回全員協議会

今年2月22日に全員協議会を開催し、議会改革に関する協議をおこなった。

これまでは議員会で意見交換をしてきたが、議員定数と報酬について審議をするとの認識で、今年9月までを目途に協議を重ねることと合意した。

編集委員長 植村 敦
編集副委員長 無量谷 隆
編集委員 菅原 利彦
西沢 裕之